



国際社会でのリーダーの育成を 目指す教養教育の改革と課題

長崎大学 学長特別補佐

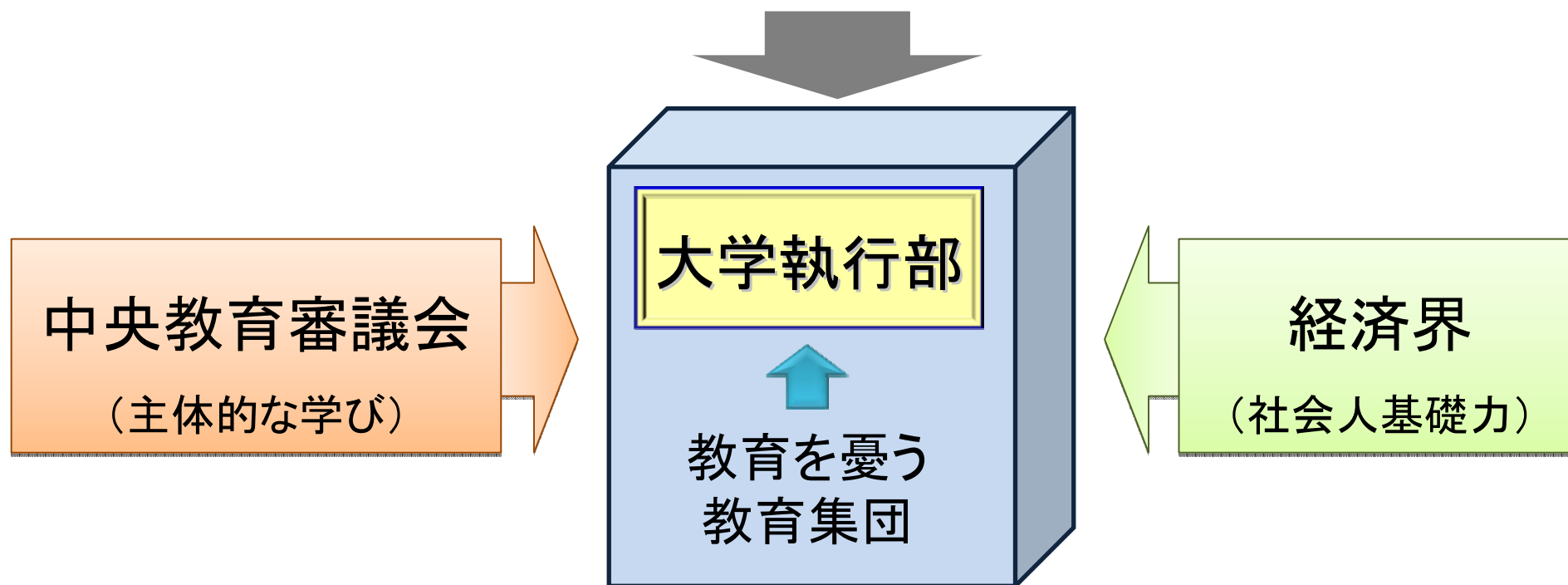
大学教育機能開発センター 副センター長

橋本 健夫



教育改革に向けた外圧・内圧

進学希望者ニーズ(多様化、教育力強化)



世界標準達成(AHELO)



教育改革に向けた内的ハードル

FDの拡大(全学・各学部)

ポリシーの策定 (アドミッションポリシー
カリキュラムポリシー
ディプロマポリシー)



教育改善、教育改革への内圧は高まらない



<分析・反省>

大学は研究を語る文化を作ってきたが、
教育を語る文化は作ってこなかった

- 教員の教育裁量権を重視し、
組織としての教育裁量観を議論しなかった
- 学問の自由=教員の相互不可侵主義



教育改革の第一歩としての 教養教育改革

教養教育の総括

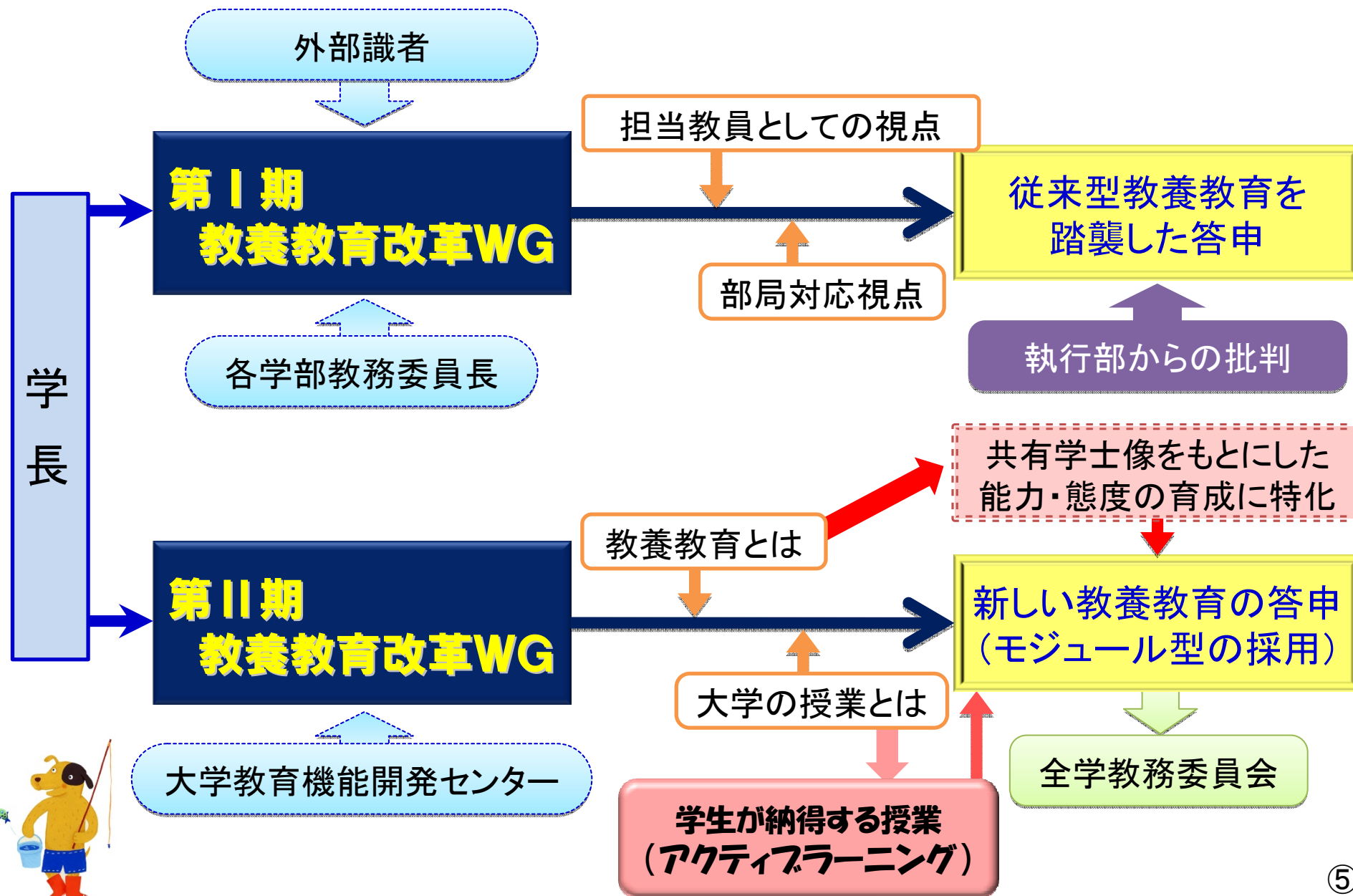
- ① 学生の不満(約60%が何らかの改善を求めている)
- ② 教員の不満(負担感からくる忌避意識の増大)
- ③ 専任教員不在の無責任体制

改革の方向性

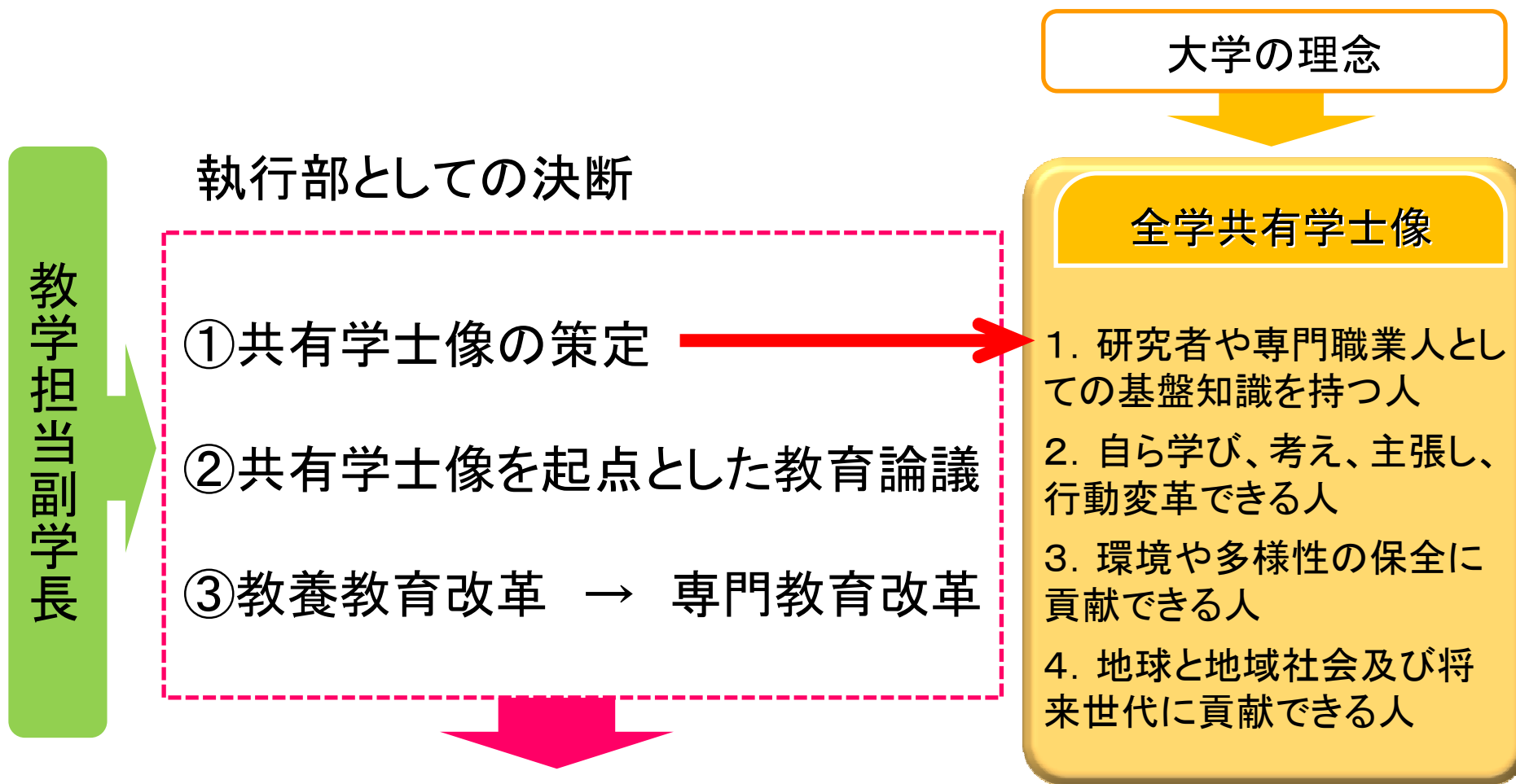
- ① 教員の意識改革
- ② 責任の明確化
- ③ 学生参加型授業の徹底
- ④ 教養教育改革をてこにした専門教育の改善



教養教育WG



教育改革への始動



大学としての教育を語る文化の創造

教育改革の目標

—国際社会でのリーダーの育成—

① どの国の人ともコミュニケーションができる人

➡ 世界共通語である英語の活用能力が高い

② 世界的視野で将来が語れる人

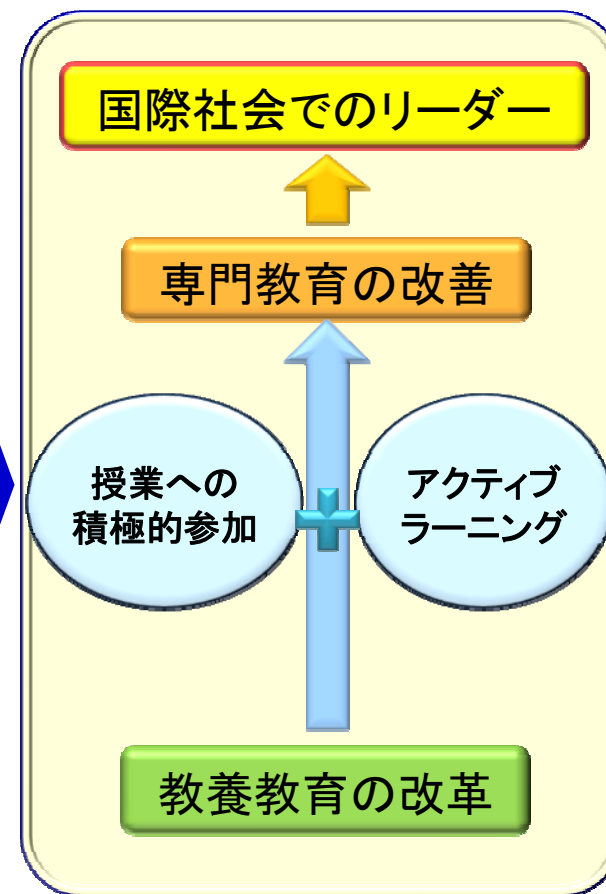
➡ 教養が高く、異文化理解ができる

③ 自己主張ができ、行動できる人



➡ 批判的精神があり、合理的に考え、行動できる

学士課程教育の改革



教育改革の具体的視点

21世紀型市民性

社会人基礎力
(経済産業省)

学士力
(文部科学省)

21世紀型スキル
(ATC21Sなど)

学士課程の教養教育
(日本学術会議)

ジェネリックスキルの育成

目標キーワード

(技能・表現)

- ① 自主的探究
- ② 批判的思考
- ③ 自己表現
- ④ 行動力
- ⑤ 日本語コミュニケーション力
- ⑥ 英語コミュニケーション力

(知識・理解)

- ⑦ 環境の意義
- ⑧ 多様性の意義

(態度・志向性)

- ⑨ 社会貢献意欲
- ⑩ 学問を尊敬する態度
- ⑪ 自己成長志向
- ⑫ 相互啓発志向

新しい教養教育の方向性

教養教育を通して涵養すべき市民性

- 公共の担い手としての市民意識の芽生え
- 自律を支える批判力育成
- 連帯を支える協調力育成
- 変容を前提としたコミュニケーション力育成



教員の意識改革



学生参加型授業



教養教育改革の三本柱

1. 教養教育の履習単位の大幅な増加

2. 英語教育の充実

3. 教養教育のモジュール方式の採用

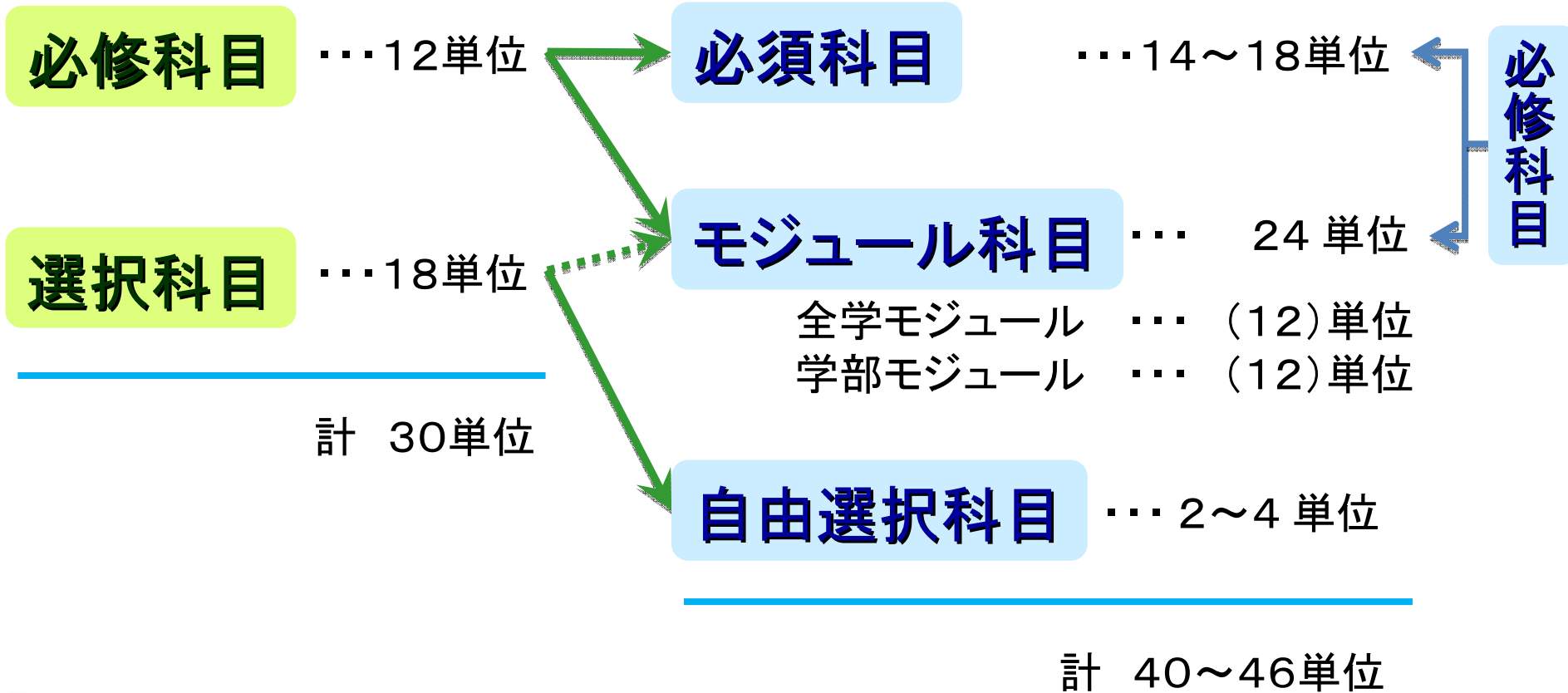


教養教育の変化

全学教育

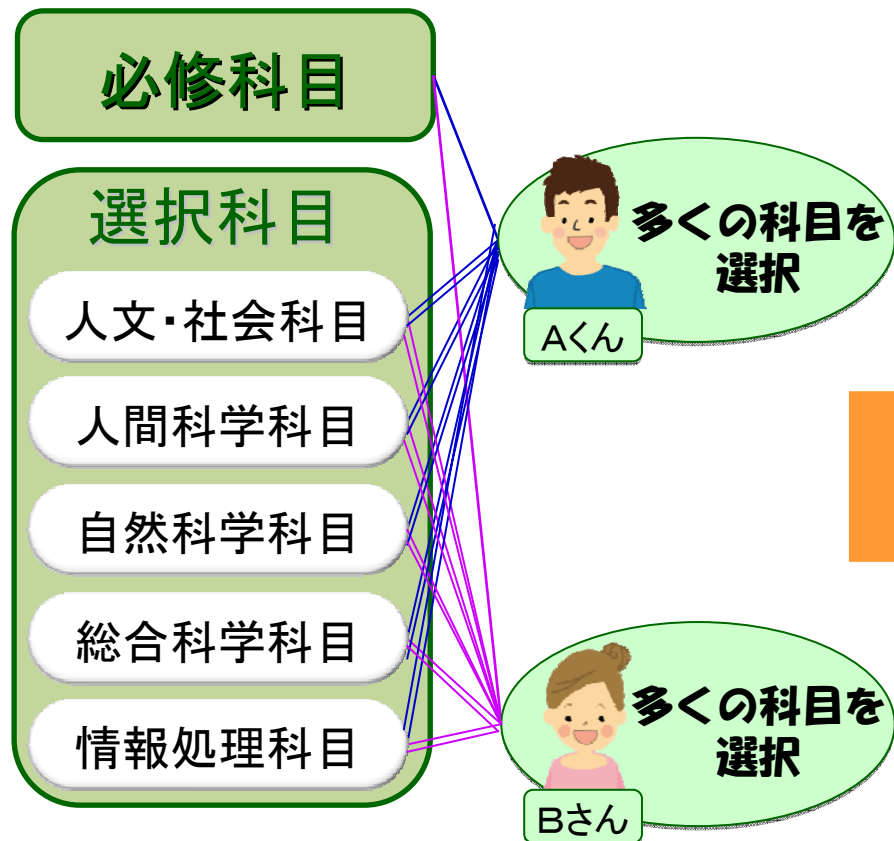


教養教育



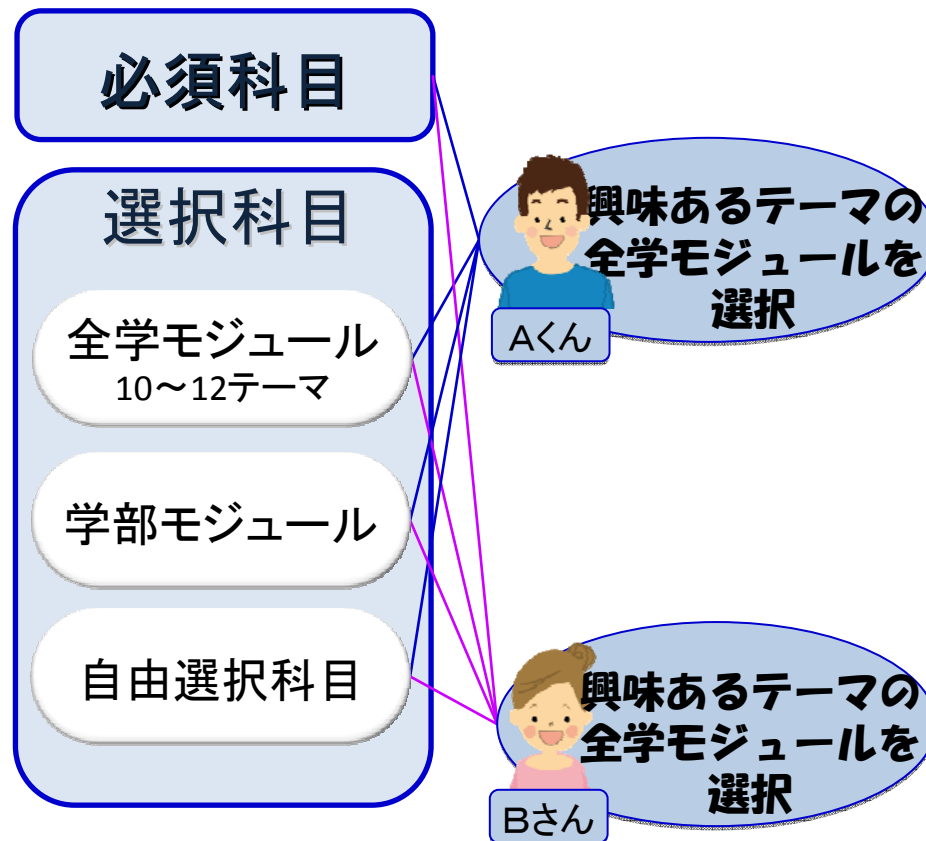
学生にとっての教養教育改革

従来の全学教育



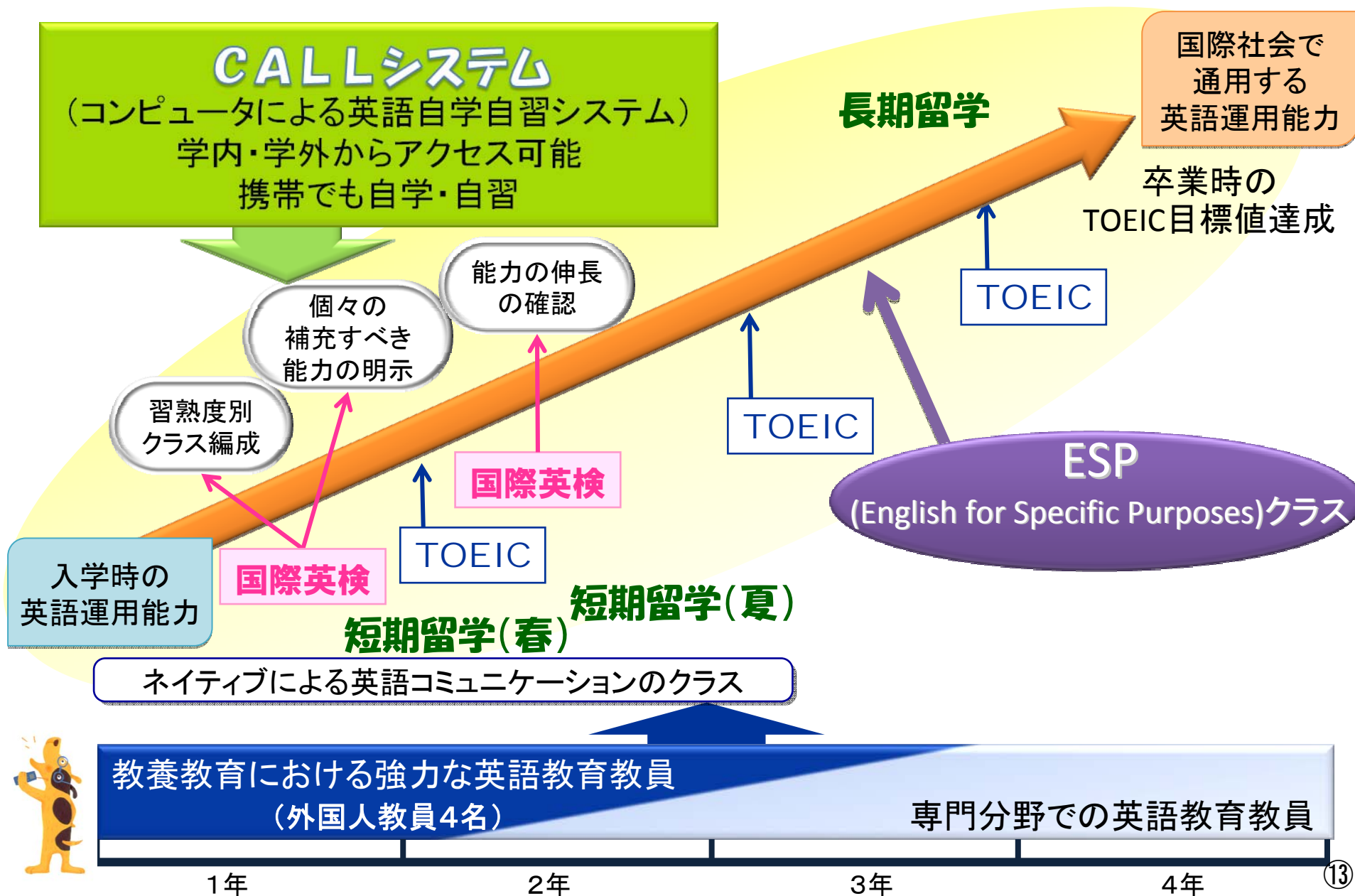
学生一人一人が
科目を適切に選択し、それらを有機的に
つなぎ合わすことによって能力形成

新しい教養教育



興味あるテーマの全学モジュールを選択し、積極的に授業に参加すれば能力形成

教養教育改革① —英語教育の充実—



教養教育改革② —モジュール方式の概要—

モジュール教育

21世紀社会で求められる批判的精神や課題探求能力等の獲得を可能にする—まとまりの科目群を指し、一つのテーマを軸に構成されている。モジュールは次の二つに分類される。

全学モジュール

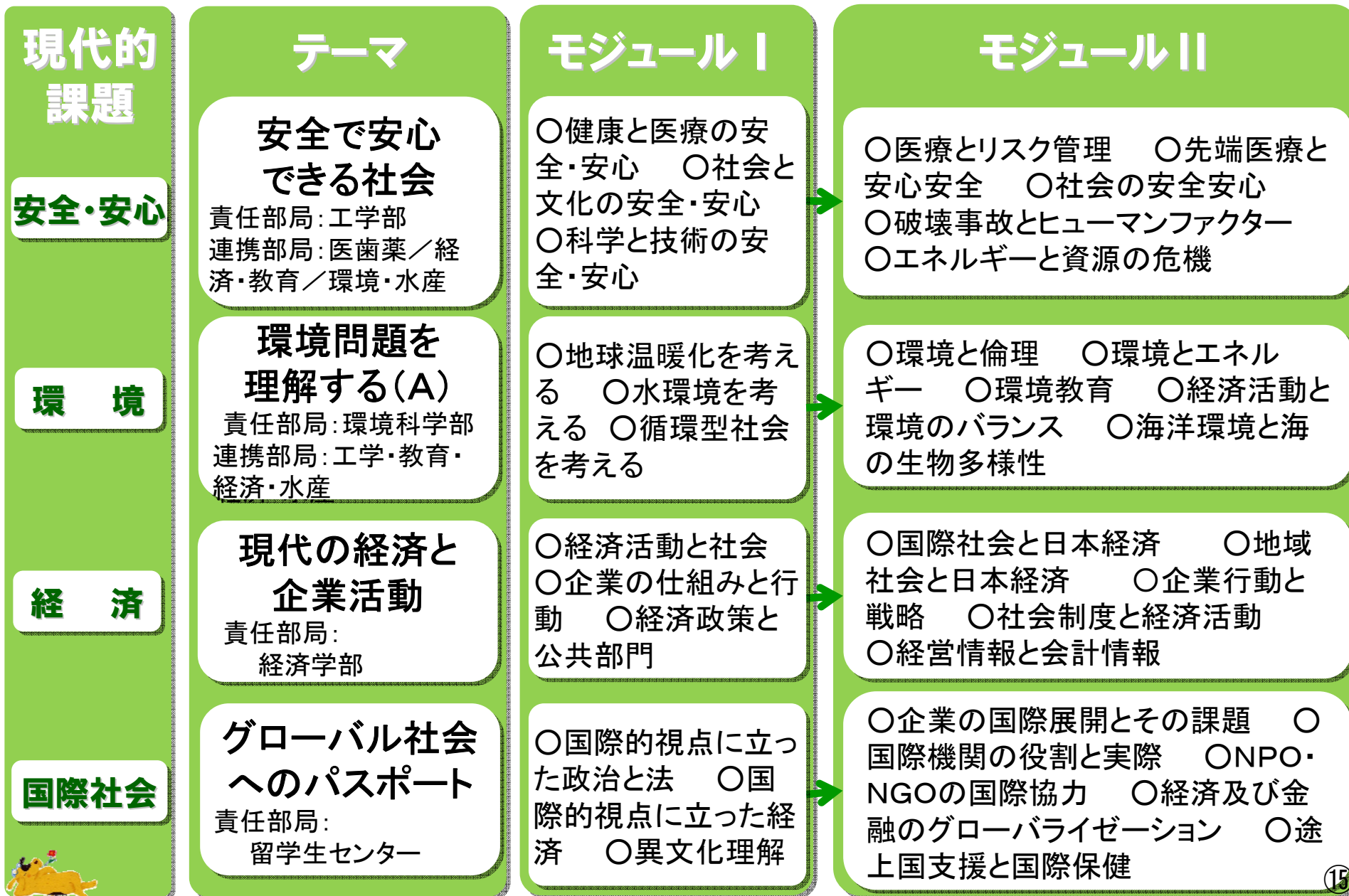
現代社会の課題をテーマとして取り上げ、それを多面的に学ぶとともに、その解決に向けた活動を行い、社会から要求されている能力の獲得やその基盤形成を行う。

学部モジュール

各専門分野での学びの基盤を形成し、高度専門職業人に向けた個の人間形成の基盤と専門分野の基本的な資質・能力の向上を図る。



モジュールのテーマと科目名

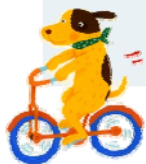


モジュール科目の到達目標一覧



◎:重点目標
○:一般目標

目標キーワードとの対応		技能・表現						知識・理解		態度・志向性			
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
		自主的探究	批判的思考	自己表現	行動力	日本語コミュニケーション	英語コミュニケーション	環境の意義	多様性の意義	社会貢献意欲	学問を尊敬する態度	自己成長志向	相互啓発志向
モジュール I	I a	◎	○	○		○				○	○	○	○
	I b			○	○	○	○	◎	○	○	◎	○	○
	I c	○	◎	○	◎	○		○	◎	○		○	○
モジュール II	II a												
	II b												
	II c							(略)					
	II d												
	II e												
	II f												



平成24年度 モジュール科目と受講者数



(月・火・水組)

テーマ名	申込み数	調整後の受講者数
先進医学と現代社会	36名	48名
生命と薬	28	42
安全で安心できる社会	48	90
教育と社会	31	49
現代経済と企業活動	16	37
環境問題を考える	93	100
情報社会とコンピューティング	125	100
グローバル社会へのパスポート	110	100
コミュニケーション実践学	236	100
核兵器のない世界を目指して	20	38
環境マネジメント	22	47
数理と自然科学のススメ	38	52

(水・木・金組)

テーマ名	申込み数	調整後の受講者数
心身の健康と生命	58名	61名
健康と共生	33	34
美と健康	73	73
安全で安心できる社会	81	84
教育と社会	58	58
現代の教養	102	100
現代経済と企業活動	95	95
環境問題を考える	94	99
ことばと文化	84	88
数理と自然科学のススメ	23	26
人の暮らしと海洋生物資源	117	100



執行部としての教養教育改革収支

新しい教養教育の確立と4月からの実施

① モジュール方式のための環境整備

a. 教室整備

b. 新しい教育のための準備金の提示

② 英語教員の増加と言語教育研究センターの開設

③ TOEIC等の大学負担

④ 学修の可視化への投資

⑤ 学生の能力向上の見極め

← PROGの試行と検証



長崎大学の目標とPROGの対応



■長崎大学「目標キーワード」

■対応するPROGの詳細要素

領域	目標キーワード	具体化例	リテラシー	コンピテンシー(詳細要素)
(技能・表現)	①自主的探究	○課題発見、○情報収集、○探究継続	○情報収集、○課題発見	○情報収集、○主体的行動、○完遂
	②批判的思考	○情報吟味、○客観性の担保	○情報分析	○本質理解、○原因追求
	③自己表現	○自己主張、○意見交換、○豊かな表現	○非言語処理力	○話し合う、○意見を主張する、○建設的、創造的な討議
	④行動力	○計画性、○果敢な決断、○説得	○構想力	○目標設定、○実践行動、○シナリオ構築、○相談・指導、他者の動機づけ、○計画評価・リスク分析
	⑤日本語コミュニケーション力	○適切な表現、○豊かな語らい	○言語処理力	
	⑥英語コミュニケーション力	○英語での日常会話、○英語でのメール交換		
(知識・理解)	⑦基盤的知識	○専門分野の基礎的な知識、○現代的課題の基礎的知識	教養教育、専門教育の学習履歴と学習評価、並びに担任教員評価	
	⑧環境の意義	○生命と環境の関係、○環境保全の参加		
	⑨多様性の意義	○多様性の尊重、○多文化理解		
(態度・志向性)	⑩社会貢献意欲	○社会への関心、○課題への取組		○遵法性・社会性
	⑪学問を尊敬する態度	○学問の理解、○知識誕生への参加、		
	⑫自己成長志向	○向上心の保持、○自律心、○たゆまぬ努力		○独自性理解、○学習視点による自己変革、○良い行動の習慣化
	⑬相互啓発志向	○多様な価値観の尊重、○価値観を起点に交流、○協調		○対人興味・共感・受容、○気配り、○多様性理解、○人脈形成、○役割理解・連帯行動、○信頼構築



学修の可視化への課題

- ① 教育を語る文化の創造と発展
- ② 教員と学生のコミュニケーションの充実
- ③ 評価の厳格化、公平化
- ④ 担任教員制と担任による継続的な評価
- ⑤ PROG等の試行と検証

